

生活衛生関係営業アンケート調査結果（令和元年度）

（ 概 要 版 ）

青森県内における生衛業（生活衛生関係営業）の経営の健全化及び振興に資することを目的として、生衛業者の方を対象にアンケート調査を実施してきています。

令和元年度のアンケート調査は、昨年度と同様に、組合活動推進月間の活動を兼ねて実施することとし、アンケート調査票には関係する解説等を加えることにより、生衛組合加入者の方には生衛法に基づく融資制度等についてより理解が深まるように、生衛組合に加入されていない非組合員の方には組合に加入しようとする意欲を高めることにつながるように工夫しました。また、一昨年度の調査結果において、日本政策金融公庫については、組合員はほぼ全員、また、非組合員でもほぼ8割の方が知っていたことを踏まえ、今回の調査では昨年度に引き続き、生衛業者に関連した公庫の貸付制度について一步踏み込んだ項目を選定しました。

調査は特相員（経営特別相談員）の方など、56人の方に調査をお願いし実施しました。

調査結果は概ね次のとおりです。

- (1) 日本政策金融公庫の生衛業者を対象とした貸付制度については、組合員では9割以上の方が知っていましたが、非組合員では半数以上の方が知りませんでした。
- (2) 非組合員が利用できる一般貸付は設備資金が対象であり、運転資金は対象外であることについては、組合員では約6割の方が知っていたのに対し、非組合員では約9割の方が知りませんでした。
- (3) 組合員には低い利率の貸付制度があり、設備及び運転資金の両方を利用できることについては、組合員では7割の方が知っていましたが、非組合員では約8割の方が知りませんでした。

今回の調査にご回答いただいた方は340店舗でした。そのうち非組合員は188店舗(55%)であり、半数を上回り、アンケート調査票等をこれら多くの非組合員の方にお渡しできたこと、また、日本政策金融公庫の貸付制度のことを知らなかった方に、今回のアンケート調査によって、少しでも知っていただく機会をつくれたことは大きな成果であったと思います。調査員の方のご尽力に感謝いたします。

今回の調査において気づいたことや意見などの中に、「アンケート調査を郵送して実施するとか見直してはどうか」というご意見がありました。本調査については特相員の業務である生衛業者に対する融資等の相談・指導の一環として、特相員の方々にアンケートを通じた巡回指導をお願いしていますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

今回の調査結果及び調査において気づいたことや意見などを今後の活動に生かしてまいりたいと思います。また、生衛組合、公庫、行政当局など関係機関に情報提供することとします。

【調査において気づいたことや意見などは次のとおりでした】

【組合】

- 1 若い方々の所へ行ってきました。組合の事とかも云ってみましたが、意外に知らないのではと思いました。
- 2 これから会員(組合員)を増やすためには若い方をターゲットとした施策が必要と感ずます。
- 3 また、金銭面でのメリットを感じられるものも必要と感ずました。
- 4 今回の訪問で新規に2店舗組合への加入が決まりました。
- 5 みなさん”生衛組合”のことをご存知ない方ばかり。
- 6 組合員になった場合のメリットを感じない。

【特相員】

- 7 実際借入れの際には相談員と話し合っている。

【センター】

- 8 生衛業指導センターに関心がないように感ずました。

【公庫】

- 9 理容業者は組合員、非組合員とも公庫の貸付制度は知っていた。
- 10 すし店、料理店に関わらず、高年齢の方ほど金融公庫さんの貸付制度を知らないのには、正直びっくりしました。
- 11 若い方々は内容まではくわしく知らなかったが、貸付制度の存在は知っているとった内容でした。

【融資】

- 12 わりと知られていない。
- 13 組合員でもあっても、一般貸付及び設備・運転の内容は理解していない。
- 14 ある経営者は商工会議所を通して借入れしてるようです。
- 15 借入れの際にはホームページでよく勉強されている人が数人いた。
- 16 組合加入者は貸付制度について周知しており、PR等が行き渡っていることを感ずました。
- 17 高齢化に伴い、融資を受けたくても返済が不安で、もうお金は借りられないという意志が強いと思いました。
- 18 今は一般金融機関の金利が安いのでそっちで借りる話をされました。むしろ自分もそっちにすれば？と言われました。
- 19 生衛組合に加入していない店舗に行ったら、利率1.21%を見て「高いな」と、自分は担保ありで公庫から0.7位で融資を受けていると言われた。
- 20 利率が低くなっても売上(申告書)を他の人に見られるのに抵抗がある。
- 21 組合員の方でも貸付制度は知っているが、利用できる内容は知らないという方がほとんどでした。
- 22 運転資金の貸付が組合員のみ対象となることに興味を示した店が多かった。
- 23 組合員でも年末に向け運転資金の需要があるが、景気の動向が不確実のため返済に向けて二の足を踏む店が多々あった。

24 運転資金の貸付ができることを非組合員の方は、ほとんど知りませんでした。

25 組合員以外の方は、公庫の融資制度の認知度が低いことに調査結果として認識させられました。

【経営】

26 先行き不安な経営をしている。その理由は客数の減少と売上の減少が続いているとの事です。

27 組合員でない70代の男性が、高齢だし借入れすることもないから、このまま現状でやっていると話していました。

28 借入を考えなくてもよい順調に経営しているような方々に感じました。

29 売上の減少で経費を節約したい。

【調査】

30 若年層の方は今後のことを考えているので、話も聞いてくれるが、高齢者は「もう終わりですから・・・」と返事が返ってきます。

31 みなさん気軽に協力してくれました。

32 非組合員の数店舗を訪問したのですが、あまり協力いただけず、アンケート調査へのご協力のお願い書だけ渡すことでご理解して頂きました。

33 皆様、アンケートは快く書いてくれました。

34 アンケート調査を見直してはいかがでしょうか。調査員活動費を無しにして指導センターが業者をピックアップして、無記名返信用封筒を同封し、アンケート依頼を郵送してはいかがでしょうか。

35 逆に若い方は積極的に質問を受け好印象でした。

【全般】

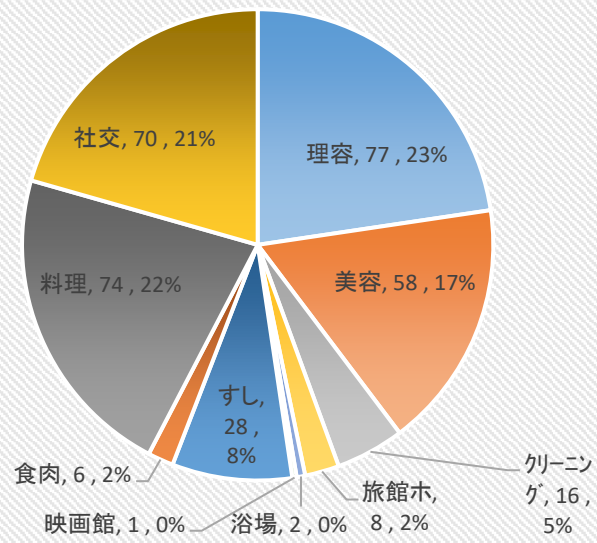
36 今回初めてクリーニング店に調査に伺ったところ、弘前のクリーニング組合は解散したとのことで驚きました。

37 後継者がいなく、いつまで組合に加入しているかわからない。組合を脱退した後でも、公庫の借入実績によって低金利で借入れできる制度があってほしい。

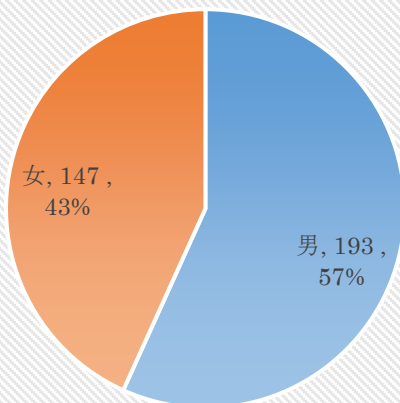
38 どうしても高齢の方(60歳以上)は、新しい事に一步踏み出す気持ちが弱いのか聞くのも他人事の様に感じました。

39 毎年の事ながらとても難しいです。でも皆様は心ゆるしてくれてありがたいと思っております。大して役に立っているか、いないかが心配です。ありがとうございます。

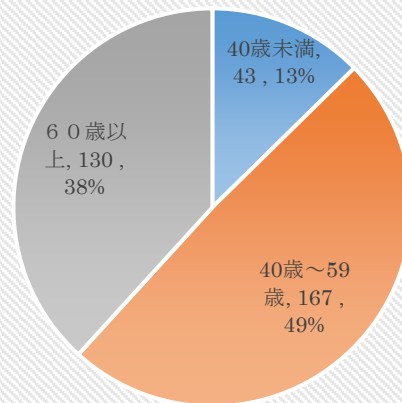
問1 営んでいるお店の業種



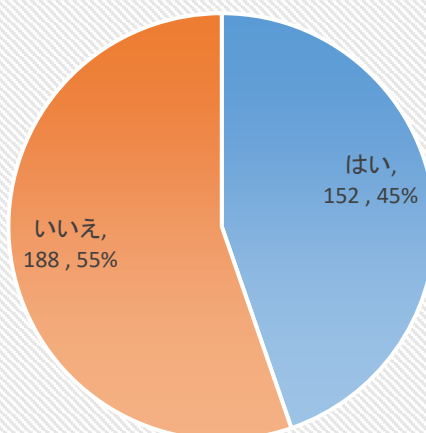
問2 性別
回答者 全体



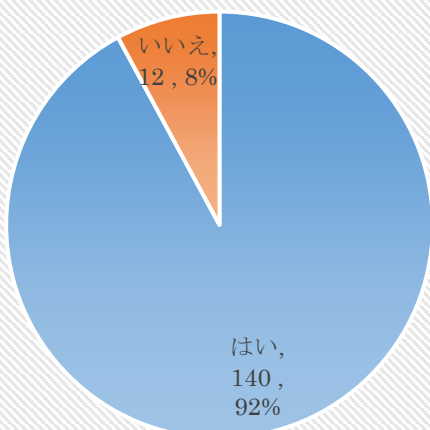
問3 年齢
回答者 全体



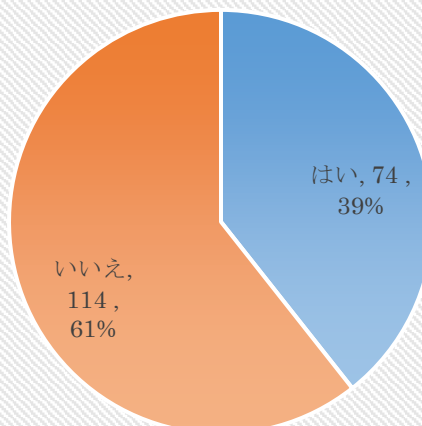
問4 組合員ですか
回答者 全体



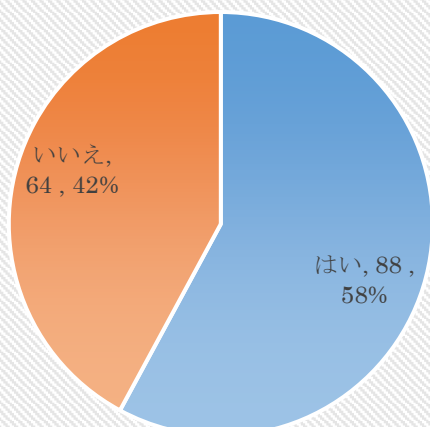
問5 生衛業者対象の貸付制度
回答者 組合員



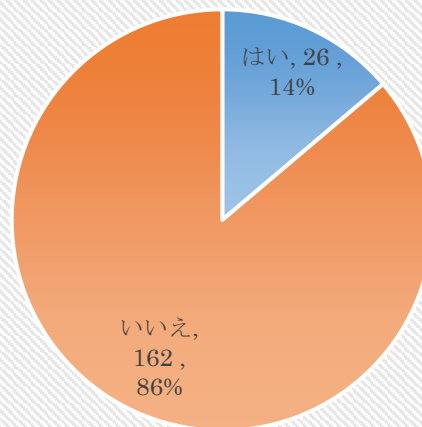
問5 生衛業者対象の貸付制度
回答者 非組合員



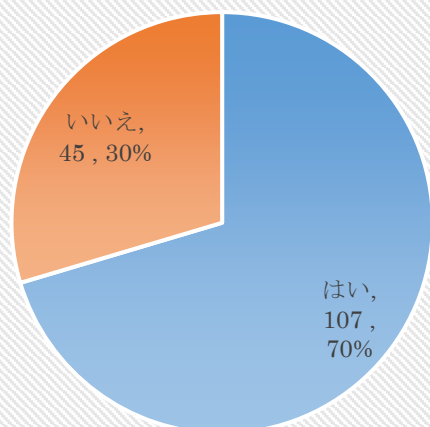
問6 一般貸付は運転資金対象外
回答者 組合員



問6 一般貸付は運転資金対象外
回答者 非組合員



問7 組合員は設備運転両方可
回答者 組合員



問7 組合員は設備運転両方可
回答者 非組合員

